

## 第81回デメンシアカンファレンスを開催

2022年2月22日

2月22日（火）に富山大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第81回デメンシアカンファレンス」をWeb上で開催しました。

「複雑部分発作を伴うBehavioral Variant of Alzheimer Diseaseが疑われた一例」のタイトルで、富山大学からの症例報告が進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



The image shows a screenshot of a Zoom meeting. At the top, there are several video thumbnails. The first two show participants, one of whom is wearing a white face mask. The third thumbnail is labeled '金沢大学'. The main part of the screen displays a presentation slide with a light green background and a red arrow pointing to the right. The slide text is as follows:

**複雑部分発作を伴う  
Behavioral Variant of Alzheimer Disease(bvAD)  
が疑われた一例**

富山大学附属病院 神経精神科 児玉竜太郎

## 第 81 回デメンシアカンファレンス 報告要旨

# 『複雑部分発作を伴う Behavioral Variant of Alzheimer Disease(bvAD)が疑われた一例』

発表者：兒玉竜太郎（富山大学附属病院 神経精神科）

司 会：高橋努先生（富山大学附属病院 神経精神科）

### 【要 旨】

アルツハイマー病型認知症(Alzheimer's Disease:以下 AD)の患者の中には、行動障害やパーソナリティの変化が早期に優位に出現するタイプがある。また認知症患者は、経過中にてんかんを合併することもある。今回は AD が疑われる患者で、複雑部分発作を認めた一例を経験した。症例の発表に当たっては本人の同意を得て倫理面に配慮した。

症例は 70 代女性。X-5 年から外出頻度が減り家で何もせず過ごす時間が増え、家族の話を無視したり、家事ができないようになった。X-3 年から自動車事故を複数回繰り返すようになった。事故相手や警察に「相手の車が古かった」と言い、その場から立ち去ろうとした。警察が事故の詳細を聴取した時は、事故直前の様子や過去の事故を覚えていなかった。またこの頃から物忘れが目立つようになった。X-2 年 A 病院を受診し、AD と診断された。X-1 年頃から買い物に行く頻度は激減し無気力・無関心な様子が増え、物忘れが増悪した。X 年 4 月 2 日意識がなく倒れているところを発見され、B 病院へ救急搬送され経過観察入院となった。入院中に 2 度自動症を認め、精査加療目的で 4 月 8 日に当院で医療保護入院となった。脳波では右側頭葉で複数の spike を認めた。頭部 MRI で前頭葉、頭頂葉が軽度萎縮し、脳血流 SPECT では前部帯状回後方・前頭頭頂葉・外側頭頂葉の血流が軽度低下していた。MMSE は 21.5 点であった。脱抑制、アパシー、遂行機能障害、近時記憶障害が早期から認め、脳波所見、画像所見、心理検査から複雑部分発作を伴う bvAD が疑われた。抗てんかん薬は家族の希望で内服しない方針となった。入院後自動症は認めず、5 月 20 日退院となった。

行動障害やパーソナリティの変化を早期かつ優勢に認める AD は bvAD と呼ぶ。認知機能低下の原因の 1 つに非痙攣性てんかん重積がある。本症例は認知機能低下の原因に bvAD があり、複数回の複雑部分発作により認知機能の低下がより進んだと推察された。

### 【質問・意見】

質問：抗認知症薬を含む治療反応性はどうか。それによって認知症とてんかんのどちらがより優勢であったかある程度判断できるのではないかと？

回答：抗認知症薬は変更していない。ただ、外来の MMSE で軽度改善を認める事から、てんかんが認知機能に影響を与えた可能性は十分に考えられます。

質問：脳波所見の再現性は？

その後複数回脳波を施行したが有意なものはない。

質問：認知機能の変動は？

回答：外来で軽度改善した。

質問：ベンゾジアゼピン系薬の悪影響の可能性

回答：脱抑制の原因にベンゾジアゼピン系薬はあげられる

※カンファレンス後 1 週間以内に北陸認プロ運営事務局へご送付ください。

(E-mail : ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp)



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）

# 第81回デメンシアカンファレンス(Web)

2022年2月22日(火)18:30～

## 「複雑部分発作を伴う

Behavioral Variant of Alzheimer Disease

が疑われた一例」

発表者：富山大学附属病院 神経精神科 兒玉 竜太郎

担当：富山大学

対象：認プロ参加施設及びその他の施設の医療関係者  
(医療系大学の学生含む)

### 【参加方法】

個人のパソコンからWeb会議システム(Webex)を使用

・教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで参加案内をお送りします。案内状のメールに従って会議にご参加下さい。

・教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認します。

・上記以外で参加を希望される方は2月21日までに氏名とメールアドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせください。

([ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp))

### 【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局

TEL:076-265-2149

E-mail:[ninpro@adm.kanazawa-ac.jp](mailto:ninpro@adm.kanazawa-ac.jp)

〒920-8640 金沢市宝町13番1号

FAX:076-234-4208

URL:<http://ninpro.jp/>